

バスケットボールイベント開催時感染拡大予防ガイドライン

2020年9月9日

(一財)北海道バスケットボール協会

1 はじめに

本ガイドラインは、(公財)日本バスケットボール協会「JBAバスケットボール活動再開に向けたガイドライン(手引き)」の基本的方針を受けて、本道におけるバスケットボールイベント開催時の感染拡大予防のため、留意点についてまとめたものです。

また、既に発出されている北海道バスケットボール協会「バスケットボール活動再開に向けたガイドライン」第3版(2020年7月10日作成)の内容とともに、感染拡大予防への備え、「三つの密」を回避するための対策など、基本的な考え方を整理致しました。以下の項目の、□内にレ点チェックを入れて確認いただければと思います。 なお、本ガイドラインの詳細事項は、北海きたえーる開催をモデルにし作成されております。イベント開催にあたっては、当該イベントが開催される道内各市町村の方針に従うことが大前提であり、開催等における諸判断は、開催地や施設が所在する各市町村およびスポーツ主管課や衛生部局および施設管理者等にご相談のうえ、実施いただけますようお願い致します。

2 主催・主管者側の準備

□ (1)入場時には、必ずスタッフ、選手、観戦者が全員揃った状態で一同に入場してもらうこと、入口で手指消毒を行うこと。その際、必ず役員が立ち会い、「三密」にならないよう指導すること。(当面的の間、スリッパ等の貸し出しは不可で対応してください。)

□ (2)入場時には、マスクの着用を義務づけ、着用していない場合、入場不可とする。

その際、マスクの持参がないことも考えられるため、主催者が予備のマスクを準備し配布、または販売で対応する。

□ (3)入場口に受付デスクを設け、事前配布した「チェックリスト」および「利用者名簿」を提出してもらい、受付で記載内容の確認をすること。

□ (4)競技役員等も事前に「利用者名簿」を作成し、当日入場時に検温し記載する。

□ (5) チェックリストに記載内容および検温結果で入場を不可と判断した該当者が出た場合、チーム責任者等と確認し、該当者の入場をお断り致すこととなります。また、その同居家族の入場もお断りする場合があります。

尚、本件(入場不可の判断)によって、当該イベントに参加できなくなった場合、原則、参加料等の返金はしない。「※ 現在、コロナ禍の対応として、参加料等は当日徴収させて頂いておりますが、この場合においても原則、事後であっても参加料は納入して頂くこととする。」

□ (6)公共の体育館などの施設は、当面収容人数の50%以下の入場とすることが示されています。ただし、施設管理が別に制限を設けている場合、席の間引きについては、これに従うこととします。

□ (7)学校等を利用してイベント活動を行う場合は、会場責任者が事前にイベント概要や感染防止対策等、所属長の許可を得ること。観戦者等の人数は体育館の広さや参加校数(参加者数)を踏まえ、密集・密接を避けること。その場合も、各チームに観戦者名簿の提出は必要となります。

□ (8)会場および観戦場所が密集・密接を避けることができないと判断した場合は、無観戦措置も考慮すること。その際、各チーム1名程度のビデオ撮影の入場を認めることは可とする。そのことに対応し、チーム内でのライブ配信、画像の収録、発信等について、個人情報保護法の遵守に十分考慮すること。

□ (9)試合終了後(勝ち上がりチームおよびT/Oがある場合は除く)、チーム責任者は、選手、観戦者

を含め速やかに退場を指示する。尚、事情があつて途中入退場が必要な場合は、受付等の係員の許可を得ること。

- (10) イベント等の申し込みの際には、全チームに必要な事項を確認して申し込みを行うこと。本ガイドラインが遵守出来ない場合、ゲームの中断或いは没収試合となることを事前周知すること。

3 受付時対応

- (1) 参加者用 感染防止チェックリスト（参加選手・指導者・保護者用）と利用者名簿の一式をチーム代表者がまとめて受付に提出し、確認後入場させる。

※ 注）受付時、感染防止チェックリストのNo.〇〇は、利用者名簿のNo.〇〇一致させ、確認する。

- (2) 保護者(大人)は、検温を実施する。(37.5℃ある方は、入場を禁止する。)

- (3) 受付で確認されたチームは、選手・指導者・保護者がまとまって動線に従い入場させる。

4 会場内入場の移動は、「密」にならない動線を確保し、できれば「一方通行」にすることが望ましい。

- (1) 選手・保護者が立ち止まり「密」防止のため、誘導者を配置するのが望ましい。

- (2) 選手：入口(受付) ⇒更衣室⇒出口へ「スムーズな動線の確保」

- (3) 保護者：入口(受付) ⇒観戦席⇒出口へ「スムーズな動線の確保」

- (4) 選手と保護者は別々に動線を設けることで密を避ける。

5 チームがベンチ入場直後に退場時のアルコール消毒方法の説明を実施する。

- (1) アルコール消毒の実施は、噴霧し、30秒位おいてからペーパータオルで拭き取る。

(ナイロン手袋を準備する！)

- (2) 拭き取ったペーパータオル等の処理方法および場所を指定する。

- (3) TO 器具等もアルコールをペーパーに噴霧（直接噴霧しない）し消毒をおこなうよう指導する。

6 観戦席等についても使用後、利用者各自がアルコール消毒を行うよう指導する。

- (1) 除菌ウェットシートで、使用した座席のひじ掛け等（布部分を除き）ふき取り消毒を各自実施。

7 試合球の消毒について

- (1) スプレーボトルのアルコールをペーパーに噴霧（直接ボールに噴霧✕）し、消毒をおこなう。

8 選手退出口の手指消毒について

- (1) 出口でのアルコール手指消毒を実施。

9 更衣室のロッカー・シャワー室がある場合について、管理者と

- (1) 体育館の指定管理者に確認し、使用の可否判断および告知する。

- (2) 更衣室使用後、ドアノブ等アルコール消毒を実施する。

10 審判控室の消毒について

- (1) 手指アルコール消毒、検温、利用者名簿に記入する。

- (2) 審判控室のドアノブ等、定期的にアルコール消毒をする。

11 大会本部について

- (1) 手指アルコール消毒、検温、利用者名簿に記入する。

- (2) 審判控室のドアノブ等定期的にアルコール消毒をする

12 発熱者および体調不良者の一時待機場所の設置および一次的対処について

- (1) 一時待機場所は、動線等と隔離でき、換気の良い場所に複数設置することが望ましい。

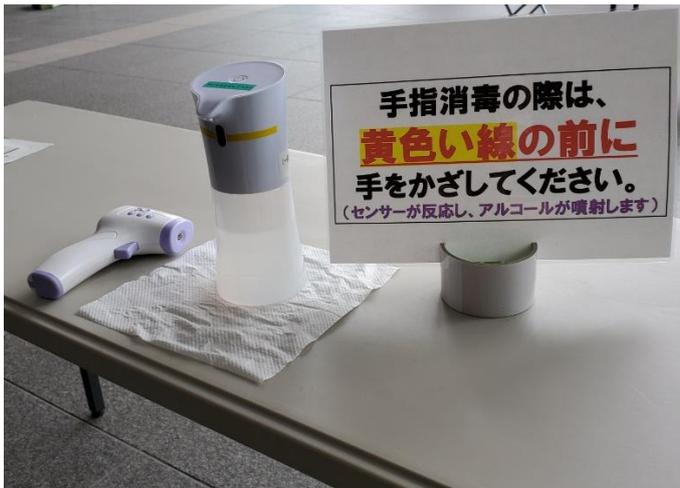
- (2) 発熱者および体調不良等の症状があった場合、一時待機所で待機させ、速やかに帰宅を促す。

- (3) 発熱および倦怠感などの症状が顕著な場合は、相談窓口「新聞等に掲載」に連絡する。

13 熱中症等の症状がある場合は、一時的な処置「体温調整」、「水分補給（塩分も含みも有効）」を実施し、症状が重く改善が見られない場合は、速やかに医療機関に相談する。

<アルコール消毒グッズ等：サンプル>

①受付・本部・役員控室・審判控室（自動で噴射）



※非接触型体温計も用意して下さい。

③TO・ベンチアルコール消毒グッズ

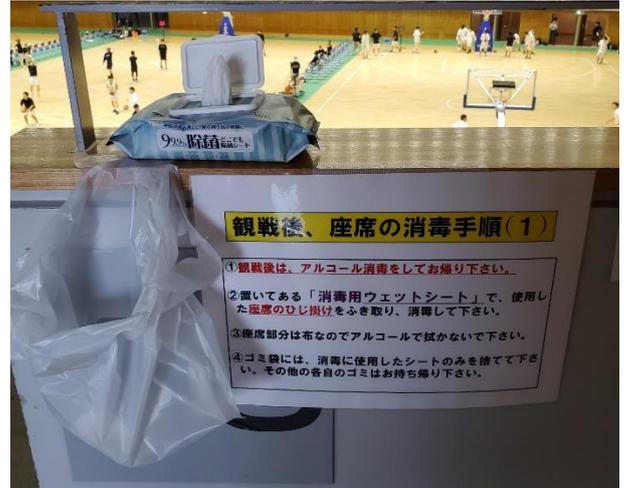


※両ベンチ分を用意する。

⑤フェースガード使用



②観戦席に消毒用ウェットティッシュとゴミ袋を設置



※座席の肘掛けをアルコール清掃して頂く。

④受付にナイロンシートで作成



※「北海道スタイル」安心宣言の掲示物

